

# 授業科目                      座位保持装置

【担当教員名】  東江 由起夫、前田 雄 他		対象学年	4	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				
【概要・一般目標：G10】 ＜G10＞ユーザーに適切な車いす・シーティングを供給するため、採寸採型、製作および適合に関する知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 車いす・シーティングの歴史について説明できる 2. 車いす・シーティングに関する用語・規格について説明できる 3. 車いす・シーティングのバイオメカニクスについて説明できる 4. 車いす・シーティングと障害について関連づけることができる 5. 車いす・シーティングの適合評価のプロトコルを列挙できる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	車いす・シーティングの歴史			1	講義
2	車いす・シーティングの定義			2	講義
3	座位姿勢について			3	講義
4	褥瘡について			4	講義
5	車いす・シーティングを必要とする障害および疾患			2,3,4	講義
6	小児の車いす・シーティング			2,3,4	講義
7	高齢者の車いす・シーティング			2,3,4	講義
8	適合プロトコルについて			5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		小児から高齢者までの姿勢保持 工 学的観点を臨床に活かす	日本リハビリテーション工 学協会、SIG 姿勢保持	医学書院	2007・4,700円＋税
参考書		からだにやさしい車いすのすすめ 車椅子ハンドブック 車いすシーティング（仮名）	著者 Bengt Engstrom、訳 高橋正樹、中村勝代 他 日本車いすシーティング協 会監修	三輪書店 株式会社はる書房	1997・2,718円＋税 2011 発行予定・価格 未定
その他の資料					
【評価方法】 最終筆記試験 100%		【履修上の留意点】 原則、欠席 1 回につき - 5 点、遅刻 1 回につき - 3 点を最終評価から減点する。また遅刻 2 回で 1 回の欠席とする。 授業の 1 / 3 を欠席した者は、原則、科目評価資格を失うものとする。			